

第1学年1組 英語科学習指導案【略案】

日時 2025年2月10日(月)

場所 1年1組教室

授業者 * * * * *

1 単元(教材)名 「Let's Talk 4」

2 本単元(教材)の学習目標

- ・レストランなどで、注文をしたり質問に答えたりできる。

3 本単元(教材)の学習計画(2時間完了)

第1時 スライドでメニュー表を作る。

第2時 ペアやグループで、注文をしたり質問に答えたりしよう。(本時)

4 本時の学習計画

	生徒の学習活動	授業者の支援
導入 5分	1 前時にスライドで作ったメニュー表を確認する。 2 本時の活動を確認する。	・本時の目標と流れを電子黒板に提示する。
目標: レストランなどで、注文をしたり質問に答えたりしよう。		
展開 35分	3 教科書P.116の学習課題に取り組む。 (1) Chromebookで本文の確認をし、音読練習をする。 (2) スライドで作ったメニュー表のオススメポイントや、対話に使う表現の確認をする。 (3) スライドで作ったメニュー表を提示して、ペアやグループで対話活動をする。	・音読練習が難しそうな生徒に発音の確認を支援する。 ・対話活動に困っている生徒に本文やTool Boxをヒントに見せながら会話の支援をする。
まとめ 5分	4 全体で振り返りをする。	・生徒が作ったメニュー表を電子黒板に何枚か提示し、本時の活動を振り返らせる。

5 本時の評価

- ・メニュー表を使って、注文をしたり質問に答えたりすることができたか。

第1学年2組 国語科学習指導案【略案】

日時 2025年2月10日(月)

場所 1年2組教室

授業者 * * * * *

1 単元(教材)名 「構成や描写を工夫して書こう」

2 本単元(教材)の学習目標

- ・ 情景や心情を適切に表す語句を選ぶことができる。
- ・ 書く内容の中心が明確になるように、構成や描写を考えて書くことができる。

3 本単元(教材)の学習計画(4時間完了)

第1時 随筆の題材を選び、事実と意味づけの二つの観点から掘り下げる。(本時)

第2時 構成を考え、友達と助言しあう。

第3時 書き出し描写を工夫して、随筆を書く。

第4時 随筆を推敲して書きあげ、学習を振り返る。

4 本時の学習計画

	生徒の学習活動	授業者の支援
導入 5分	1 漢字の小テストに取り組む。 2 本時の活動を確認する。	・Classroomのストリームに目標と流れを掲載しておく。
目標:随筆の題材を選び、エピソードを掘り下げよう。		
展開 35分	3 教科書P.220、221の学習課題に取り組む。 (1)随筆の題材を選ぶ。 (2)具体的な材料を書きだす。 ・Canvaで他者参照・途中参照しながら 自分の題材について掘り下げる。 ・考えをまとめる過程は ①自分で考える ②クラスの人と話し合う ③授業者の話を聞く を生徒が選択する。	・Canvaでの進捗状況を確認しながら、 ①参照してほしいマッピングの紹介 ②手が止まっている生徒の支援 →ほかの生徒と話し合わせる →授業者が話をする のように支援する。
まとめ 5分	4 本時の振り返りをスプレッドシート に入力する。 5 次時の活動を確認する。	

5 本時の評価

- ・ 随筆の題材を選び、エピソードを掘り下げることができたか。(Canva)

第1学年3組 数学科学習指導案【略案】

日時 2025年2月10日(月)

場所 1年3組教室

授業者 * * * * *

1 単元(教材)名 「立体の表面積」(6章 空間図形)

2 本単元(教材)の学習目標

- ・柱体, 錐体, 球の表面積の求め方を理解し、求めることができる。(知識・技能)
- ・柱体, 錐体, 球の表面積の求め方について考察し表現することができる。(思考・判断・表現)
- ・柱体, 錐体, 球の表面積の求め方について考えようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

3 本単元(教材)の学習計画(3時間完了)

第1時 角柱・円柱の表面積

第2時 角錐・円錐の表面積 …(本時)

第3時 球の表面積

4 本時の学習計画

	生徒の学習活動	授業者の支援
導入 5分	1 前時の振り返りを確認する。 2 本日のめあてをつかむ。 3 投影図を見てどんな立体か、どこの長さがわかれば、表面積が求められるかを考える。	・スプレッドシートで前時にまとめた内容をテキストマイニングで確認し、本日のめあてにつなげる。 ・本日の流れについて、板書しておく。 ・投影図から、立体を捉えるさせることで、本時のめあてに興味をもたせる。
	目標:角錐, 円錐の表面積を求めよう	
展開 35分	4 角錐の表面積の求め方を考える。【個人追究】→【全体追究】 5 円錐の表面積を求めるためには、どこの長さが必要かを考える。 6 円錐の表面積の求め方を考える。【個人追究】→【全体追究】	・机間指導して、助言する。 ・デジタル教科書を各自で利用してもよいことを伝える。 ・解き終わった生徒へeライブラリなどの指示を出しておく。 ・生徒の様子を確認する。 ・自分なりの意見をもたせるように声かけをする。 ・意見交換させる。 ・角錐の考え方を振り返らせる。 ・デジタル教科書を各自で利用してもよいことを伝える。
まとめ 5分	7 本時を振り返り、スプレッドシートにまとめる。	・今日のポイントをしっかり捉えているか確認する。

5 本時の評価

- ・角錐の表面積の求め方を理解し、求めることができたか。
- ・自分なりの意見をもったり、他の人の意見を聞いたりすることができたか。

第2学年1組 理科学習指導案【略案】

日時 2025年2月10日(月)

場所 2年1組教室

授業者 * * * * *

1 単元(教材)名 「気圧配置と風」

2 本単元(教材)の学習目標

天気図の読み取りを通して気圧と風の見出し、自分の言葉で説明することができる。

3 本教材の学習計画(6時間完了)

第1時 気圧とはどのような気象要素なのか学ぶ

第2時 圧力は力の大きさと面積に関係があることを見出して理解する。

第3時 力の大きさと面積をもとに圧力を求める

第4時 天気図の読み取りを通して気圧と風の見出しを理解する。(本時)

第5時 天気図の作成を通して気圧と天気の見出しを理解する。

第6時 高気圧や低気圧は風の吹き方や天気に関係があることを確認する。

4 本時の学習計画

	生徒の学習活動	授業者の支援
導入 5分	1 気圧について言及している天気予報を見せて、本時の授業内容を理解する。	・普段見ている天気予報に気圧が関係していることに気づかせる。
	目標:気圧と風の見出し	
展開 30分	2 天気図とその読み方を理解する。 3 天気図の動画を見て気圧と風の見出し活動をする。 (1) それぞれの生徒がダジック・アースの動画を見る。 (2) 動画を見て気づいたことを各班でCanvaのホワイトボードにまとめる。 (3) 班ごとに気圧と風の見出しについて気づいたことを発表する。	・次の活動で使って覚えるために必要な語句も確認しておく。 ・生徒ごとに異なる動画を見て、その中から共通点を見出すようにさせる。 ・〔思考・判断・表現〕 気圧と風の見出しを天気図の動画から見出し、表現している。 【ホワイトボード・発表】
まとめ 10分	4 3DモデルをARで表示して、気圧と風の見出しを立体的に理解する。 5 確認問題に取り組む。	・いろいろな角度から見るように指示する。 ・〔知識・技能〕 気圧と風の見出しについて理解している。【確認問題】

5 本時の評価

・〔思考・判断・表現〕気圧と風の見出しを天気図の動画 から見出し、表現している。

【ホワイトボード・発表】

・〔知識・技能〕気圧と風の見出しについて理解している。

【確認問題】

1 単元(教材)名「確率の利用」(6章 場合の数と確率)

2 本単元(教材)の学習目標

- ・ 具体的な場面で、確率を活用して問題を解決する方法について理解できる。
(知識・技能)
- ・ 確率を用いて不確実な事象を捉え考察し表現することができる。
(思考・判断・表現)
- ・ 3つのさいころを同時に投げたとき、どちらが有利か考えようとしている。
(主体的に学習に取り組む態度)

3 本単元(教材)の学習計画(1時間完了)

第1時 確率の利用 …(本時)

4 本時の学習計画

	生徒の学習活動	授業者の支援
導入 5分	1 前時の振り返りをする。 2 本時のめあてをつかむ。	・確認問題に取り組み、本日のめあてにつなげる。 ・本時の流れについてGoogleClassroomで示す。
目標:具体的な場面で、確率を活用して問題を解決しよう。		
展開 35分	3 3つさいころを同時に投げたときの問題について考える。 【個人追究】…問題に取り組み、自分で解いたものをスプレッドシートに記録する。自分の解答を撮影してスライドに挿入する。 【ペア, グループ追究】…ペア, グループ内で自分の考えを共有し, 意見を交換する。 【全体追究】…どちらの和がより起こりやすいのかをクラス全体で比較する。クラス全体で意見交換し, 正しい確率を最終的に確認する。 4 類題に取り組む。 【個人追究】→【ペア, グループ追究】	・机間指導をして, 困っている生徒に助言する。 ・早く解き終わった生徒への指示を出しておく。 ・グループごとに巡回し, グループ間での意見交換をサポートする。 ・生徒の意見を引き出し, まとめとして「確率」や「組み合わせ」についてのポイントを確認する。 ・スプレッドシートで生徒の進捗状況を確認し, サポートする。
まとめ 5分	5 本時を振り返り, スプレッドシートにまとめる。	

5 本時の評価

- ・ 樹形図や表を使って, 3つのさいころの組み合わせや確率を正確に求めることができたか。
- ・ 自分なりの意見をもったり, 他の人の意見を聞いたりすることができたか。

1 単元(教材)名 「日清・日露戦争と近代産業」

2 本単元(教材)の学習目標

日本、朝鮮、清それぞれの国内事情から、どのようにして日清戦争が始まり、またその後どのような影響を与えたのかを資料を基に調べ、発表することができる。

3 本単元(教材)の学習計画(6時間完了)

第1時 欧米列強の侵略と条約改正

第2時 日清戦争(本時)

第3時 日露戦争

第4時 韓国と中国

第5時 産業革命の進展

第6時 近代文化の形成

4 本時の学習計画

	生徒の学習活動	授業者の支援
導入 5分	1 前時を振り返る。 2 日清戦争を題材にしたビゴアの風刺画「魚つりの会」を提示し、それが何を表しているのかを考える。 3 本時の学習課題を知る。	・朝鮮半島について、学習してきたことを確認させる。 ・自分の予測を必ず考え、 スライド① に記入させる。 ・スライドへ記入した生徒の意見を、 デジタル黒板 に映し出す。
目標:なぜ日本は清と戦争を行ったのか、またどのような結果をもたらしたのかを考えよう		
展開 35分	4 日本と清が戦争になった直接的原因を確認する。 5 日本が戦いを優位に進められた理由を考える。 6 戦争後について3つにまとめ、発表する。[班活動] ① 清との関係 ・条約内容について・・・下関条約 ② 東アジア情勢 ・中国分割、三国干渉などについて ③ 日本国内 ・反ロシア意識、軍備拡張費などについて	・ スライド②-A に記入させる。 ・自分の見つけ出した考えを、 スライド②-B に記入させる。 ・自分の見つけ出した考えを、 スライド②-C に記入させる。 ・班員で分担し、戦後の様子を認識させる。 ・班員や別班の スライド を参考にさせる。 ・理解が十分でない生徒・班に対し個別指導する。 ・三国干渉後、ロシアに対する国民感情が悪化したことに気付かせる。 ・清が、日清戦争の敗北で弱体化したことを、国際社会に露呈させたことに気付かせる。
まとめ 5分	6 本時のまとめをする。 7 次時の連絡を聞く。	・本時に展開した各国の関係が理解できているか確認する。 ・原因・結果の歴史的流れを確認させる。

5 本時の評価

- ・日清戦争に至った理由や戦後の影響を理解することができる。(知識・技能)
- ・資料を基に考えをまとめ、記入することができる。(思考・判断・表現)

1 単元(教材)名 「好きなものを紹介しよう」

2 本単元(教材)の学習目標

- ・好きなものについてインターネットを利用して調べることができる。
- ・調べたことや写真を必要に応じて、レポートにまとめることができる。
- ・好きなものに対して、自分の意見や気持ちを書くことができる。
- ・英語で習ったローマ字を使い、ローマ字入力でレポートを書くことができる。
- ・レポートをもとに発表することができる。
- ・友達の発表やレポートに興味を持ち、感想などを書くことができる。

3 本単元(教材)の学習計画(9時間完了)

第1時 みんなに伝えたい好きなものを考え、レポートに使うcanvaのテンプレートを選ぶ。

第2時～ 紹介したい好きなものをインターネットで調べ、伝えたいことをまとめる。

第6時 必要に応じて写真を選び、レポートに貼る。

第7時 レポートを見ながら、発表の準備をする。

第8時 レポートを発表し、感想や気づいたこと、もっと知りたいことをスプレッドシートにまとめる。(本時)

第9時 みんなから書いてもらった感想等を読み、振り返りをする。

4 本時の学習計画

	生徒の学習活動	授業者の支援
導入 5分	1 みんなの書いたレポートを配付する。 2 本時の学習内容を確認する。	・レポートを印刷しておく。 ・Classroomにスプレッドシートなどを準備しておく。
	目標:好きなものを紹介して、感想を交換しよう。	
展開 35分	3 教師の発表を聞き、スプレッドシートに感想を書く。 ・シートに、感想やもっと聞きたいことなどを記入する。 ・シートに記入したことをもとに、聞きたいことを質問する。 4 順番に発表する。	・発表の仕方からスプレッドシートへの記入の流れを確認させる。 ・シートへ書き込む内容は、否定的ではなく肯定的なことを書くことをおさえる。 ・電子黒板にレポートを表示する。 ・発表が苦手な生徒へ、発表のサポートをする。
まとめ 5分	5 本時の発表で一番気になったことや感想を発表する。	

5 本時の評価

- ・意欲的に発表することができたか。
- ・発表を聞き、スプレッドシートに感想などを書くことができたか。